

西知多地域循環型社会形成推進地域計画（第二次）の 令和7年度進行状況について

1 目標に対する進行状況について

指標・単位			現 状	実 績	目 標
年			令和元年度	令和7年度	令和8年度
排 出 量	事業系 総排出量	(t)	14,170	11,871	12,012 (R元比 -15.2%)
	1事業所当たりの排出量	(t/事業所)	2.33	1.88	1.98 (R元比 -15.0%)
	生活系 総排出量	(t)	42,948	35,557	40,749 (R元比 -5.1%)
	1人当たりの排出量	(kg/人)	192	160	180 (R元比 -6.3%)
	合 計 事業系生活系排出量合計	(t)	57,118	47,428	52,761 (R元比 -7.6%)
再生利用量	直接資源化量	(t)	1,831 (3.2%)	1,822 (3.8%)	1,830 (3.5%)
	総資源化量	(t)	9,352 (15.6%)	11,692 (23.8%)	13,942 (24.9%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量及び熱利用量)	(MWh/年)	4,567	27,599	28,686
		(GJ/年)	—	—	—
最終処分量	埋立最終処分量	(t)	6,321 (11.1%)	0 (0.0%)	4,267 (8.1%)

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量及び埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量及び集団回収量の合計に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量) = (事業系ごみの総排出量 - 事業系の資源量) / (事業所数)

事業所数は令和3年経済センサス

※3 (1人当たりの排出量) = (生活系ごみの総排出量 - 生活系の資源量) / (人口)

人口は外国人人口を含む総人口

《用語の定義》

排出量：事業系、生活系を問わず、出されたごみの量（集団回収量を除く。）〔単位：トン〕

総資源化量：集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和〔単位：トン〕

エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕及び熱利用量〔単位：GJ〕

最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕